

## 「低炭素型地域活力創造事業」の実施状況について

### 1 事業の概要

国の経済危機対策における「低炭素革命」と連携しながら、本市独自の環境対応製品の普及・促進策を早期に講ずることにより、家庭におけるCO<sub>2</sub>の削減と個人消費のさらなる広がりをも喚起するもの

#### (1) 環境配慮型自動車普及促進事業

一定期間経過した自家用乗用車の新車への買換えに対し、購入費の5%程度を補助

#### (2) 家庭用高効率給湯器設置費補助事業

電気及びガス高効率給湯器の設置に対し、設置費の5%程度を補助

#### (3) 家庭用太陽光発電システム設置費補助事業

発電能力1キロワット当たりの補助額を4万円から7万円に増額

### 2 申請件数及びCO<sub>2</sub>削減量

本年7月15日（水）から8月25日（火）までに、環境政策課に提出された申請件数及び申請件数から算出した概算のCO<sub>2</sub>削減量

（「家庭用太陽光発電システム設置費補助事業」の件数については、本年4月1日からのもの）

事業種別	自動車	給湯器	太陽光
申請件数	761件	189件	103件
予算件数	3,300件	3,400件	300件
「申請件数」対「予算件数」比率	23.1%	5.6%	34.3%
申請件数から算出した概算のCO <sub>2</sub> 削減量	621.9t-CO <sub>2</sub> /年	80.9t-CO <sub>2</sub> /年	294.6t-CO <sub>2</sub> /年

※ 「申請件数から算出した概算のCO<sub>2</sub>削減量」の合計：997.4t-CO<sub>2</sub>/年

⇒ 約145世帯が1年間に排出するCO<sub>2</sub>の量に相当

### 3 事業ごとの申請内容等

#### (1) 環境配慮型自動車普及促進事業

##### ○ 申請区分による申請件数（推計）

集計済件数から算出した割合による上記「1 申請件数」の区分ごとの推計申請件数

申請区分	申請割合	推計申請件数
クリーンエネルギー型	24.4%	186件
低燃費型	75.6%	575件
合計	100.0%	761件

・ 本市における本年1月から6月までの新車登録台数は、昨年同時期比で76.4%であったが、本年7月は、昨年同月比で113.4%

（栃木県全体では、本年1月から6月までの新車登録台数は、昨年同時期比で74.3%、本年7月は、昨年同月比で101.5%）

⇒ 本市の増加分があったことにより、栃木県全体の比率を押し上げたと推測できる。

（数値は、栃木県自動車販売店協会によるもの。軽自動車を除く。）

(2) 家庭用高効率給湯器設置費補助事業

○ 申請区分による申請件数（推計）

集計済件数から算出した割合による上記「1 申請件数」の区分ごとの推計件数

申請区分	申請割合	推計申請件数
エコジョーズ（ガス系）[潜熱回収型]	50.9%	96件
エコフィール（石油系）[潜熱回収型]	2.5%	5件
エコキュート（電気系）[自然冷媒ヒートポンプ]	44.8%	85件
エコウィル（ガス発電）[ガスエンジン]	1.8%	3件
合計	100.0%	189件

(3) 家庭用太陽光発電システム設置費補助事業

○ 期間ごとの申請件数

「低炭素型地域活力創造事業」の開始前後における件数比較

申請期間	申請件数	1日平均申請件数
4月1日～6月30日（91日間）	30件	0.33件
7月1日～8月25日（56日間）	73件	1.30件
合計	103件	

- ・ 年度当初からの申請件数は、昨年同日で190.7%（昨年：54件）
- ・ 「低炭素型地域活力創造事業」の開始後、1日平均申請件数は、約3.9倍